

すこしの工夫で驚くほど快適に!

くらしの整理収納術

〈実践編〉アパートの押し入れ②

収納スペースが限られたアパートの押し入れの片付けが完了。キャスター付きの収納ボックスで押し入れの奥行を有効活用し、よく使うモノを使い勝手良く配置した。



上段の袋には幼児用品などをジャンルごとに収納。



キャスター付きなら可搬性が高く、移動も楽々。

読者モニターの感想

- ・押し入れの使い勝手がよくなってうれしい。
- ・押し入れを前後2列で使うことで収納力が増した。
- ・よく使うモノがアクセスしやすい場所にあり便利。
- ・他の部屋をキレイに片付けるための勉強になった!

重量物は下段、おもちゃは移動箱に既存の収納を再利用して予算も削減

上段には自立するナイロン製の袋を4つ並べ統一感を演出。幼児用品など色が雑多なものは、不透明な袋にまとめて整理すると見た目もキレイ。

中段には既存の引き出し式の収納ボックスを再利用。手前側によく使う日用品などを入れ、棚板の天地を狭めて引き出した際の安定性を高めた。

下段は飲料のストックなど重量のあるモノを中心に整理。手前のキャスター付きボックスには子どものおもちゃ類、洗剤などをそれぞれ収納している。特に頻繁に使う工具類や裁縫道具はカラーボックスの上に直接置いた。

完成!

ジャンルごと再配置、見た目もスッキリと

押し入れ内を採寸してから購入したサイズ感ピッタリの収納グッズに合わせ、一度押し入れから出したモノをジャンル分けしながら整理していく。高い利便性とスッキリとした見た目の印象を両立させて再配置した。

今月のポイント!

- ・押し入れは奥行が深い。前列と後列と2列にして有効活用する。
- ・キャスター付きの収納ボックスを、押し入れ下段の前列に置けば移動も楽々、奥へのアクセスも抜群。

教えてくれたのは…

整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー4期生で山形県唯一の「住まい方アドバイザー」。

